

検証報告書:地域編(概要)

【目的】

- 震災の浸水地域の被災者等の証言など震災関連資料を整理分類、地域の伝承、震災時の動き等を明らかにする。
- 震災を後世に引き継ぐ地域文化の醸成を図る。

【検証対象】

- 東部、平田、鶴住居及び唐丹地区

【対象期間】

- 震災前(備え)～震災当時の動き(避難行動、避難所)

【検証方法】

- 市、町内会、個人等が所有する地域の伝承、震災時の動き等に関する資料整理
- 下記検証報告書の検証成果の整理
 - ・検証報告書(平成23年度版)
 - ・検証報告書(平成25年度版)【津波避難行動編】
 - ・検証報告書(平成26年度版)【学校・子ども関連施設編】【避難所運営編】

【検証結果】

1 震災前(備えほか)

- ① 津波記念碑(設置状況)
- ② 地域・世代間における言い伝え
- ③ 震災直前に行われた平成23年3月の避難訓練
- ④ 自主防災組織

2 震災当時の動き(避難行動・避難所ほか)

- ① 避難行動(マップに内容を記載)
 - 地域→ 避難場所、避難ルートほか
 - 施設→ 学校・子ども関連施設、高齢者福祉施設等
 - 公共施設の避難行動→ 応援センターほか
- ② 避難所の開設・運営の概要

【検証結果(避難行動に関する整理分析)】

1 避難をうながした要因(プラス作用)

知識・伝承・経験/地震直後の「情報」や「避難誘導」が避難に結びついた事例

2 避難をさまたげた、又は避難が遅れた要因(マイナス作用)

知識・伝承・経験/地震後の情報が避難行動に結びつかなかった事例
一度避難していながら、何かしらの理由で戻る/別なことに気を取られて/避難を躊躇して/避難誘導などをして被災・避難が遅れた事例

3 その他、様々な要因から被災又は避難が遅れた事例

車で移動中/海の様子を見に行く/避難場所などに津波が押し寄せ被災・避難が遅れた

4 見解が分かれた事項・留意事項

防災行政無線/避難訓練/避難場所「避難をしない」方など

【検証結果(関係資料)】

1 「証言」から得られた地域の伝承、震災時の動き等(詳細)

- ① 震災以前の備え・備えとして必要なこと・その他
 - 自主防災組織の設置状況・地域の取り組み・訓練の実施状況
 - 備え・よかった点・課題他
- ② 震災時の地域の動きと避難行動
 - 避難のきっかけ・避難誘導
 - 水門・陸閘の閉鎖
 - 当時の状況(目視の範囲)
 - 主な避難行動の状況(特徴的な事項)
 - 防災行政無線・情報について
 - 高齢者福祉施設等及び公共施設の避難行動
 - 救助の状況
 - 亡くなった方・行方不明となっている方について その他
- 2 地域の伝承・震災時の動き等に関するとりまとめ
 - ① 被災状況
 - 各地域の震災前の人口・世帯数、犠牲者数、全壊・半壊家屋数
 - ② 震災以前の地域の伝承・備え
 - (1)津波記念碑
 - (2)津波に関する地域の伝承・意識、家族間等での決めごと
 - (3)市指定の避難場所他と対象地域
 - (4)地域の備えー自主防災組織と避難訓練
 - (5)施設等の備え・避難先等の決めごと

3 震災時の地域の動きと避難行動

- ① 消防団・自主防災組織を中心とした地域の動き
- ② 施設・団体等の行動